

公民科	科目名	総合社会	担当者	赤嶺 尚
履修学科	情報技術科・インテリア科・デザイン科			
履修学年	第3学年	履修単位	2単位	
概要及び目標	時々刻々と変化する現代社会の情勢について、生徒一人ひとりが自らの問題として捉え、自分なりの意見を持ち、表明する能力を養う。			
評価基準及び方法	○各学期の定期考査 ○論述レポート ○ニュース検定 ○プリント（ファイル）まとめ ○授業態度・意欲			
使用教科書及び教材	教材 ①新聞等 ② 時事問題・ニュース			
その他留意点	① テーマの確認を最初の授業にて行う。 ② 各テーマは、その時々々の社会情勢に応じて、適宜順番を入れ替えたり、新しいテーマを組み込む場合もある。 ③ 現在進行形で起こっている社会的課題について、賛否が分かれるテーマを取り上げることで、生徒自身に多面的な視点を持たせる。			

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	高度情報化社会	携帯・ネット・SNS等、様々な情報媒体に影響される現代人の現状と課題を考える。	
5	市民の司法参加 －裁判員制度－	実施から数年を経た裁判員制度の現状を踏まえ、市民の司法参加のあり方について賛否両面から掘り下げる。	討論会 中間考査
6	人口減少社会における福祉・教育のあり方	急速に人口構造の変化する日本社会の実情と、今後の福祉・教育のあり方について展望する。	期末考査
7	高齢社会の実態と行方 －医療・介護－	他国に例を見ない速度で高齢化する日本社会の課題と今後の政策等について、自らのこととして考える。	レポート

シラバス（総合社会）

9	生命倫理の問題	移植医療・代理母・クローン技術・遺伝子操作・再生医療等、日々進歩する医療の分野から見えてくる究極の課題である「生命とは何か」を考える。	討論会 レポート
10	雇用と労働問題	派遣労働者、雇用形態の変化、格差社会等、生徒自らの問題として考える。	討論会 中間考査
11	食糧自給率と農業政策の課題	低迷する日本の食糧自給率と、TPP 交渉等から見えてくる農業政策の課題について、今後の国の行方を含めて考える。	期末考査
12	世界の貧困問題	格差の広がる世界の国々の置かれた状況について捉え、その対応について議論する。	レポート 討論会
1	地球環境問題	温暖化問題、資源エネルギー問題、失われつつある生物多様性等、急速に変化しつつある環境問題について、グローバルな視点から考察を深める。	レポート
2	平和教育・地球市民	沖縄の基地問題を中心に、これからの日本と世界の平和について考えを深める。 また、一市民・一国民・一地球人として、どう生きるべきかについて、自ら表明する。	学年末考査 レポート
3			